

会員数 442  
男 350  
女 92  
27. 7. 1現在

# 会員の皆様へ 事務局だより

第61号 27. 7. 10発行

公益社団法人  
香芝市シルバー人材  
センター事務局  
TEL 79-6601  
FAX 79-6671

《Kashibashi Silver Human Resources Center Association》

## 第二十七回定時総会が開催されました

当センターの第27回定時総会が5月29日、香芝市モナミホールで、香芝市長並びに市議会議長の出席を頂き、盛大に開催されました。当日の会員数は、429人で、この内、総会に出席された会員は、100人でした。



総会は長田ミツ子理事の「開会の言葉」に続いて、杵村喜芳理事長より挨拶がありました。理事長は、『昨年の敬老の日に因んで総務省が高齢者の人口を発表いたしました。それによりますと65歳以上の人口が、総人口の26%となっており

ます。さらに75歳以上は、総人口の12.5%であります。いずれも過去最高であり日本人の4人に一人が65歳以上、そして8人に一人が75歳以上と云うわけであります。多くの高齢者や年金生活者の不安がいよいよ高まってきているわけでございます。このような中、景気回復の期待が大きいわけであります。しかし地方におきましては、景気回復の効果が目に見えて良くなっておりません。しかしそんな中でも経済の専門家は、最近の景気は緩やかに回復しているといわれております。そんな日本経済の期待感が膨らむ社会情勢の中で今年度公益社団法人として5年目を迎える当センターでございます。高齢者が増え続ける中、シルバー人材センターの存在そして役割が益々大きくなってきておるわけであります。シルバーの事業推進目標であります「自主・自立・共働・共助」の理念を大切に守りながら高齢者が生きがいを持って安心して働ける、そして社会にお役に立つ事業を展開し発展させて行かなければならないわけでございます。そのために今年度も厳しい財政事情の中シルバー事業に対しましては最大限の御理解を頂きまして、国及び香芝市から多額の支援援助となる補助金の交付を頂いていることにまず私たちは感謝をしなければならぬと思っております。会員それぞれがシルバーの仕事を通して生きがいの充実を見つけて頂き社会参

◆ 働く喜びと社会参加の輪を拡げよう ◆ 自主・自立・共働・共助 ◆ 安全就業

加を図ることにより皆様の能力を生かした活力ある地域社会作りに貢献する努力をしなければと考えております。会員の皆様方は多くの経験と熟年パワーで自身自身の生きがいや健康維持のため今まで培ってこられました技能や技術知識を生かして地域に貢献するセンターとしての実績を積み重ねて来て頂いている多くの会員の皆様に敬意を表するものでございます。

お陰さまでシルバーの事業は、地域の高齢者の活動を支える不可欠な存在となり、年々その重要性が増しております。そして今後も公益社団法人としてコンプライアンスを重視し、より地域に認められ、無くてはならないセンターとして職員共々地域の為にまた、会員皆様の生涯現役社会の実現に向けた就業機会の確保拡大の改善に向けて取り組み事業展開を進めて行く所存でございます。最後になりますが会員皆様の健康と事故には充分に注意を払って頂きますようお願いいたします。特に昨年は、全国的な重篤な事故が発生していると聞いております。小さな事故の積み重ねが重篤事故に繋がって行くわけでございます。昨年も申し上げましたが、私たちは大きな石にはぶつかりません、小さな石にこそ躓き怪我

をいたすわけでございます。安全第一を念頭に取り組んで頂きますことを特に重ねてお願いするわけでございます。』と述べられました。

続いて、ご臨席を頂いた吉田弘明市長から祝辞を頂きました。市長は、『先週の新聞発表によりますと奈良県下で熱中症で運ばれた方が約6名で、全員が65歳以上と云う発表がございました。65歳以上が何かとキーワードになって来ておりまして、先ほども交通安全対策協議会、PTAの協会と、いろいろとございまして、その中で交通事故に遭われる方の一番多いのが65歳以上だということが香芝警察の所長からも報告がございました。また、防犯対策協議会ではいわゆる振り込めサギの被害に遭われるのもやはり高齢者である。先日近畿の市長会がございまして、経済局の方が来られておりまして、一番日本でダンス預金を持つておられるのも65歳以上だということをおっしゃってました。ほんとに65歳以上の方が主役の時代になってきたのではないかと思っております。日頃は、杵村理事長はじめ役員の方々そして皆様方には香芝市の地域づくり、そして高齢者の働きがいに尽力いただいておりますこと、心から御礼を申し上げます。少子高齢化という

言葉が云われて久しいわけでございますが、日本は今その少子高齢化にまっしぐら。ところが香芝市においては子供たちが多く、平成31年まで子供たちが多く況であります。そして子育て世代が多く高齢者というのが全体の20%、日本は今25%を超えましたので5%ほど遅れて高齢化に進んでいるということがいえます。若い人たちが生涯働くようになってまいりまして、ワークライフバランスという新しい言葉が今、出てきました。これを生涯充実したものにしていこう、これが日本の施策であり、そして香芝市もこういう方向で行きたいと思っております。その働く場をしっかりと進めていくためにも香芝市のシルバー人材センターの役割は大切なものとなっていくわけであります。香芝市は1年半前からデマンド交通というのを実施いたしました。この春から実証運行をやめて本格的にスタートしたわけでありまして。1万人以上の方々が今すでに登録されています。人は必ず元気なときと、少し援助をもらったら元気になれる時が有ります。この元気な時から少し援助をもらわないといけない、車がなくなってしまうたけれどもデマンド交通でいろんなところに歩いて活動できると、こういった方々を増やしていくため

にデマンド交通をスタートさせているわけでありませぬ。今後ともシルバー人材センターの皆様には地域の活性とそして高齢者の働きがいも含めてこの町の元気づくりにお力沿いを貸していただきたい、こういったことをお願い申し上げたいと思ひます。』と述べられました。

続いて、ご臨席を頂いた北川重信議長から祝辞を頂きました。議長は、『皆様方にはこれまでの経験・知識を十分に活かされ、さまざまな仕事に取り組んで頂いており、現在443名の方がシルバー人材センターに登録されていると聞いております。過日新聞記事によりますと、高齢の方には働きやすい環境を整えるため、現在の1週間に20時間しか働けないシルバー人材センターの規制を年内にも緩和する方向で検討されていると掲載されておりましました。これからはさらに高齢者の方が増えてまいります。シルバー人材センターは、高齢社会における本市主要の拠点として益々重要な位置づけになります。また、今後高齢の方々が生きがいをもって活躍できる社会づくりをすることは、活力ある香芝市の実現につながると思ひますので、さらに働きやすい環境を整えるため、これからは皆様方の協力をよろしくお願ひします。』と祝辞を頂きました。

した。

続いて議長に濱西利昭理事が選任され、議事録署名人(2名)の選任の後、本総会に提出した議案の審議に入りました。

まず、第1号議案 平成26年度収支補正予算及び、第2号議案 平成26年度事業報告と、第3号議案 平成26年度収支決算報告について審議されました。

平成26年度収支決算では、仕事の受注契約金額は1億7,212万円、うち会員に支払った配分金は1億3,724万円、センターから仕事の提供を受け就業した会員は341人(就業率78.8%)等の事業実績の報告があり、いずれも承認をいただきました。

続いて第4号議案 役員を選任についてを議題とし、理事3名の候補者が提案され、第4号議案は、議決承認されました。続いて第5号議案 理事長に対する権限委任についても承認を頂き、すべての議事が終了し、別府后理事の「閉会のことば」で総会は閉会しました。

### ◎理事会の開催状況

☆第1回通常理事会(4月30日)

①第1号議案 正会員入会申込者の承認について  
入会申込者数6名(男5・女1)

入会申込者数6名(男5・女1)

②第2号議案 平成26年度収支補正予算(第3回決算前)案について

③第3号議案 平成26年度事業報告について

④第4号議案 平成26年度収支決算報告について

⑤第5号議案 平成26年度監査報告について

⑥第6号議案 役員を選任について

⑦第7号議案 理事長に対する権限委任について

⑧第8号議案 第27回定時総会の招集の手続き等について

いずれも議決・承認されました。

☆第2回通常理事会(5月29日)

①第1号議案 正会員入会申込者の承認について  
入会申込者数12名(男9・女3)

正会員入会申込者全員の入会を承認されました。

☆第1回臨時理事会(5月29日)

①第1号議案 常務理事(業務執行理事)の互選について

審議の結果、常務理事には仲田勝彦氏が選任されました。

☆第3回通常理事会(6月29日)

①第1号議案 正会員入会申込者の承認について

入会申込者数5名(男3・女2)

②第2号議案 公益社団法人香芝市シルバー人材センター会費規程による会員の会費免除について

《植木剪定作業中の事故により、意識不明の重体となり、現在も意識不明状態が続いている会員の、会費免除を行うもの》

③第3号議案 会計処理規程及び事務規程に基づく会計関係書類及び文書等の破棄処分について

《会計関係書類及び文書等について、その種類及び保存年数の定めに基づき、廃棄処分を行う》

審議の結果、いずれも議決承認されました。

【ご苦勞様でした】



当センターで平成23年4月から事務局長として当センター発展のためご尽力いただきました平井光男氏が本年5月末で退職されました。

今後とも健康に十分ご留意してください。

本当にありがとうございました。

◎役員を選任について

当センター理事の森田庄一氏並びに井上貴雄氏が一身上の都合により理事を辞任されましたので、後任の理事として第27回定時総会において、理事3名が選任されました。役員の方々は、次のとおりです。

- 理事 仲田 勝彦 (新任)
- 理事 松原 秀典 (新任)
- 理事 村中 義男 (新任)

◎新入会の皆さんを紹介します

(平成26年5月〜7月入会者)

氏名	氏名
大杉さん	足立さん
新宅さん	藤原さん
甲斐さん	野崎さん
甲斐(とも)さん	畑山さん
井上さん	杉本さん
黒田さん	明和さん
森下さん	土井脇さん
今村さん	森脇さん
田中さん	澤田さん
清木さん	芦高さん
塚脇さん	杉山さん
山岡さん	以上23名

◎毛筆筆耕講習会(技能講習会)

- ・開催日 平成27年10月7日
- ・開催時間 毎週「水曜日」開催(計15回)
- ・時間 午前10時〜午後3時
- ・場所 当センター会議室
- ・定員 15名程度
- ・申込み 8月31日(月)まで

前回の講習会を受講された方も参加できます。受講料無料

◎会費の納入と会員証の更新について

当センター会費規程により、平成27年度会費(1,200円)は、本年4月末日までに納めて頂くことになっています。未納の方は、ご足労をおかけしますが、至急に事務局までご持参下さい。

会員証は、毎年4月に更新しています。年会費を納入される際には、古い会員証を持参の上、事務所へお越しください。

◎事務局へ電話される時

「会員の〇〇〇〇です」と、フルネームで言ってください。よろしくお願ひします。

仕事中に、事故や急病など緊急事態が起ったときは、直ちにセンター事務局へ連絡してください。

センター事務局 79-6601